

ぱーとなー



ひとひと
男と女がお互いに
人権を尊重し

共に語りあい
共に認めあい
共に支えあう

No. 5

2013年
3月25日発行

発行 さばえ男女共同参画ネットワーク

ひとひと 女と男輝く 2012 さばえフエスタ 未来を拓こう 参画の力新時代

プログラム

- ☆和太鼓衆『風』演奏
- ☆「しあわせ伝言コンクール」
く伝えたい想いを表彰
- ☆男女共同参画地域推進委員会活動発表
- ☆朗読劇「鯖さん一家ある日の風景」
講師：前田 紘一氏
- ☆講演「笑って参画」
講師：池田 清彦氏

講演 池田 清彦氏



・楽天的に生きてきて、検診を受けないと言ってきたが、皆さんは是非ガン検診は受けてほしい

・専門的知識が理解しにくかった

・そもそも男女の差異がないことがわかった

・「ほんまでつかT.V」で見ている会えてよかった

・時々、あぶない話でドキドキした



しあわせ伝言コンクール
表彰式



会場は大盛況でした



であい汁大盛況



和太鼓衆『風』



あたりまえ体操男女参画

講義「笑って参画」

今回のテーマは『未来を拓こう 参画の力新時代』でした。このテーマには、私たち、さばえ男女共同参画ネットワークが未来に向けて、自分たちが率先して変わっていくという、強い意志が込められています。今回のフエスタでは、その一端ですが見てご理解頂いたと思っています。

今後とも、男女共同参画の推進にあたり、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○フエスタ実行委員会

委員長 中村吉秀



団体パネルクイズラリー

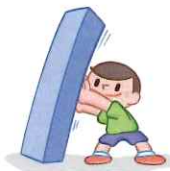
皆様には常日頃から男女共同参画ネットワークの活動にお力添えを頂きましてありがとうございます。

我国では、男女共同参画社会基本法が施行されて十数年が経ち、その間、国や県、市町が行政を中心に様々な施策が進められてきました。

しかし、今なお地域におきましては男女共同参画社会が国民に充分浸透しているとは言いがたいのが現状だと考えられます。さらに近年は、経済情勢の悪化から、国民生活の中で所得、就職、高齢化などの格差社会現象が取りざたされ、危惧されるにしがたい、男女共同参画意識が社会的に薄れてきた観もあります。

鯖江市では、平成二十二年に「男女共同参画都市」を宣言し、平成二十二年度には「第三次鯖江市男女共同参画プラン」を策定し、市民、事業者、行政までの各主体と協働して推進を図ることとしております。さらに昨年よりフェスタを市民主役事業として実施するなど、多くの参画、協働を得て着実な歩みを進めています。

私たちさばえ男女共同参画ネットワークといたしまして一人ひとりがお互いの人権を尊重し、生き生きとした暮らしができる男女共同参画社会を目指して一層の推進を念願する次第でございます。



講座委員会

委員長 奥田 範子

「ふくいきらめきフェスティバル2012」

男女共同参画月間記念行事のフェスタに参加しました。記念講演は、前養生堂副社長の岩田喜美枝氏による『女性はもっと活躍できる！』でした。しっかりと地に足をつけ、自分に正直に真直ぐ突き進むこと、絶対に仕事を辞めずキャリアを積むことの大切さを力説されました。前向きな力強い言葉に感動しました。

6/9(土)

「壊れゆく地域社会へ子や孫に残せるものは」

明蔵寺住職：乙坂晃寿氏を講師に迎え、楽しく笑いながらも、今の私たちに問題を投げかけ、考えさせられるとても貴重な講演でした。

8/18(土)

当たり前の便利に思いを馳せる、思いやりを子に伝える、背伸びせず今の自分に出来ることの大切さを学びました。

未来を拓こう

「協働で進めよう 未来を創る 男女参画」

『語り合い 認め合い 支え合おう』をサブテーマに、第一部では、市の方々から第三次鯖江市男女共同参画プランの進捗状況を伺いました。

第二部では、今の自分たちが思っている問題点、悩み、関係団体の問題点を出し合い話し合いました。問題提起の場となり、これを機にさらに飛躍できればと期待します。

10/27(日)

「坂井市男女共同参画宣言都市記念式典」

新しく宣言する坂井市の式典に参加しました。

活動DVD『いきいきと笑顔一杯の皆さんが新鮮でした。オー、キングでは、三国高校演劇部による『ぼてさん』が上演されました。幅広い年代に及んでいる活動を目的の当

11/17(日)

研修委員会

委員長 酒井末子

9/8(土)

講演会「私らしく生きる主人公達へのエール」

富岩運河環水公園(重要文化財) 富山県民共生センターサンフォルテみらい館は、男女共同参画の拠点となっています。

今回は、その講演会に参加し、講師は劇作家で声楽家の池田理代子氏でした。

代表作「ベルサイユのバラ」は二十四才の時の作品で、三十八才頃からは更年期障害に悩まされ、うつ病や自律神経症、骨粗しょう症と闘いながら辛い日々を過ごされました。

声楽を学び始めたのは四十代後半で、人間は体力が衰えても声帯の衰えは一番遅いということで、自分の体調に合わせ自分らしく生きるために始められたそうです。

辛い更年期を乗り越えたお話を聞き、女性としてとてもすばらしく、身近に感じられました。

この研修では他に、太陽熱で走るソーラー船に乗り重要文化財の富岩運河を走る貴重な



体験もしました。環水公園は自然な風景ですばらしく別世界にきた様で感無量でした。会員どうしの親睦も深まり、バス内では各団体の様子も知り和やかな時間を過ごしました。

DV講演会

12/15(土)

「DV家庭が子どもに与える影響」 講師：西山さつき氏

NPO法人レジャリエンス

日頃、皆様には市政全般にわたりまして御支援、御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

市では「人の魅力」「ものづくりの魅力」「自然・環境・風土の魅力」「まちの魅力」を最大限に生かし「幸福度の高い交流都市鯖江」の実現に向け取り組んでおります。その中で「人」の魅力を生かした「市民役」のまちづくりを進めております。その一つの施策として、公共における民間と行政との役割分担を見直し、市民の自治力を高めることを目的に、市が行っている事業の中から、市民団体等が「新しい公共」の担い手として自らが行う事業として「提案型市民役事業」が実施されております。

さて、平成十一年六月に男女共同参画社会基本法が制定され十三年が経過しました。女性と男性がお互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、わが国における二十一世紀の最重要事項の一つとして位置づけられております。

鯖江市におきましても、平成十三年に「鯖江市男女平等参画プラン」を策定し、平成二十年には「男女共同参画都市」を宣言するなど積極的に取り組んでまいりました。こうしたなか市民のライフスタイルや雇用形態、特に女性を取り巻く環境が近年の社会経済情勢とともに急激に変化してまいりました。このため、今後の施策を総合的にかつ、より計画の実効性を高めるために、平成二十二年度には「第三次鯖江市男女共同参画プラン」を策定し一層の推進を図ることといたしました。

今後とも、男女がお互いを思いやり、協力し合う「一人」の魅力を生かした、幸福度の高い鯖江の実現に向け、市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。



画について高校生が学んだのだと思います。このような広め方もあるのだと感心しました。鯖江市もより一層の意識、参画の普及が、一丸となってがんばりたいです。

参画の力 新時代

啓発委員会

委員長 斎藤直雄

今年には鯖さん一家朗読劇の公演を三回行いました。一回目は、石田下町文化祭でした。会長自ら区長役で熱演され盛大に盛り上がりました。

二回目は、新横浜地区文化祭でした。あいにくの小雨でしたが大勢の方に見ていただき関心の高さを感じました。

三回目は、いよいよ「女と男輝くさばえフェスタ2012」でした。会場の集まりも良好、音楽が流れ始め、ナレーションが二重に聞こえ言葉が生まれませんでした。しかし、隣の女房役みそのさんが手に合図をしてくれました。助かった！一呼吸し、役をこなせました。皆さん一人一人が役に成りきり熱演され大成功で幕を閉じました。来場していた家族も「あの間は長かったね」と言われ赤面しました。スタッフととても有意義な時間を過ごさせていただき感謝いたします。



平成二十四年度福井県「配偶者暴力防止等に関する民間団体との連携」委託事業として郷陽会館にてDV講演会を開催しました。

講師の貴重な体験も交えての話でした。DVの認識が不足していること話の中でこんなことがDVなの、恋人同士でおきるDVは五人に一人が暴力にあっでいる事実があり、自分自身や友達が経験するかもしれないということで、決して他人事ではない認識をしてほしいと言ったことでした。

子どもへの影響は、暴力のある環境に育つこと自体が虐待になるので早めの適切な心のケアが重要であり支援の充実も必要です。

感想では

- ・DVはみんな考えなければいけない
- ・若い人にも研修が必要である
- ・我が家にもあったかもしれない
- ・近所の人の一声で救われることを知り言葉をかけ合おう

など、参加者も百名以上あり、DVの関心の高さも感じました。多くの参加者の方々に感謝申し上げます。

役職名	団体名	代表者名
会長	鯖江市市区長会連合会	高島 建夫
副会長	鯖江市人権擁護委員	荻野 良雄
	鯖江市くらしをよくする会	齋藤 啓子
	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	田中 敬二
会計	鯖江市愛育会	水嶋 栄子
事務局	鯖江市連合婦人会	山形 悦子
理事	鯖江市農村主婦会議	高島 保子
	J A たんなん女性部	奥田 範子
	鯖江地域ファミリーサービスクラブ	井波 裕美
	夢みらい館・さばえ利用者連絡協議会	福岡 幹子
	鯖江市地域活動連絡協議会	齊藤 雅代
	退職公務員連盟鯖江支部	西野 薫
	鯖江市母子寡婦福祉連合会	蓑輪 美幸
	福井県民生活協同組合第2地区本部	辻本 理子
	鯖江市赤十字奉仕団	酒井 末子
	ソフィアさばえ	三田村 久美子
	鯖江市婦人福祉協議会	齋藤 邦子
	鯖江市食生活改善推進委員会	平井 照子
	鯖江市やんしき保存協会	牧田 清昭
	鯖江市老人会クラブ連合会	藤本 澄子
	鯖江市民生委員児童委員協議会連合会	斎藤 直雄
	(特) さばえNPOサポート	中村 吉秀
	夢みらいWe	山本 ゆきよ
	鯖江市壮年グループ連絡協議会	山本 恵司
	鯖江市PTA連合会	岸本 直樹
	(特) エコプラザさばえ	畑中 雅博
一般会員	小部 峰子	
一般会員	木戸 洋子	

月日	事業内容	開催場所
4月28日(土)	平成24年度さばえ男女共同参画ネットワーク総会	神明公民館
6月9日(土)	ふくいきらめきフェスティバル2012	福井県生活学習館
9月8日(土)	視察研修 サンフォルテみらい塾 演題「私らしく生きる」～主人公たちへのエール～ 講師：劇画家・声楽家 池田 理代子 氏 富岩水上ライン	富山県民 共生センター
10月28日(日)	朗読劇「鯖さん一家の出来事」 石田下町文化祭	石田下町公民館
11月11日(日)	朗読劇「鯖さん一家の出来事」 新横江地区文化祭	新横江公民館
11月17日(土)	坂井市男女共同参画宣言都市記念式典	ハートピア春江
11月18日(日)	ふくいきらめきフェスティバル2012 奥越大会	勝山市市民会館
11月25日(日)	女と男輝くさばえフェスタ2012 演題「男女平等と男女の差異」そもそも…女と男を語るには 講師：生物学者 池田 清彦 氏 朗読劇「鯖さん一家の出来事」	嚮陽会館
12月15日(土)	平成24年度福井県「配偶者暴力防止等に関する民間団体との連携」 委託事業 演題「DV家庭が子どもに与える影響」～忘れられた被害者～ 講師：NPO法人レジリエンス 西山 さつき 氏	嚮陽会館
2月2日(土)	新春のつどい	神明苑
2月9日(土)	平成24年度地域ネットワーク・リーダー研修会	鯖江市健康福祉センター
3月25日(金)	情報紙「ぱーとなー」発行	

※理事会 5月30日(水)、7月23日(月)、8月29日(木)、9月19日(水)、10月17日(水) 11月13日(火)、12月10日(月)、2月26日(火)
 ※随時、役員会、委員会を開催
 ●啓発・広報 団体活動パネル作成/朗読劇(フェスタ等)

しあわせ伝言コンクール入賞作品

賞状	作品名	作者
最優秀賞	心温まる作品が多数応募されました。	一般 三谷 由紀江
優秀賞	心配事が増えました 嬉しい事が増えました あなた達が 産まれてから	一般 蓑輪 亮子
優秀賞	子どもの成長は親の喜び 幸せは親の願い 全部 親の特権 次はあなたたちの番よ	一般 木水 恵子
優秀賞	四世代の大家族 毎日大変 でもわかってるんです これが幸せだって事	鯖江高 八田 鈴菜
優秀賞	私から君への「頑張ろう」より 私と君が 「一緒に頑張ろう」の方がいい	大学生 渋谷 貴子
優秀賞	辛いことは二人で半分、楽しいことは 一緒に楽しんで、二倍にしようね	一般 渡辺 恵子
優秀賞	二人で歩いてきた道 これからも一緒に 宜しくね	一般 三原 千夏
優秀賞	家族の一人がいなくて 家の中がしずか みんなそろそろとにぎやか 家族っていいね	一般 末吉 みどり
優秀賞	トロツと口いっばいに広がる昆布巻き、あの 母さんの味付けには まだまだ近づけないよ	一般 前田 ちえみ
優秀賞	疲れた時も つらい時に どんなきにも 笑顔を 私に見せてくれる 子供達 いつもありがと	中河川 山岸 万由奈
優秀賞	「ただいま」「お帰りの会話 あたり前じゃない この幸せ ありがと	一般 笠島 隆子
優秀賞	天国のお母さんへ、主人と2人の娘と幸せに なってます 見守ってくださいね	神明小 津田 伯斗
優秀賞	けいトラの音 ぼくのすきなスィカが入ってる じいちゃん ばあちゃん ありがと	鯖江中 伊坂 春音
優秀賞	お母さん 毎日おいしいごはんを ありがと 次は、私がおいしいごはんを作ります	東陽中 相馬 七緒
優秀賞	大切なのは、ずっとそばにいてくれる君 心から伝えたい 本当のありがと	神明小 田中 智也
優秀賞	おじいちゃん会いにくたびに にこにこ笑顔 別れはいつも 涙顔	中央中 山川 藍
優秀賞	いつも素直に「ごめん」と言えなかった私と 一緒にいてくれて うれしいよ	東陽中 澤田 直倫
優秀賞	「行ってきます」「ただいま」は言葉なのに 「ありがと」が言えないんだな	神明小 岡 辰之助
優秀賞	楽しい事は2倍 悲しいことは半分 いっばい話そう 母はほくのゴールキーパー	神明小 西原 啓悟
優秀賞	お母さんが 産まれてくれて ありがと ぼくは 産んでくれて ありがと	鯖江中 宮下 佳奈
優秀賞	親友へけんかしてあなたの大切さがわかりました いっしょにいてくれて ありがと	立待小 水谷 日向
優秀賞	つらい時「君のみかただよ」と父に ギョツとされたよ あったかかったよ	



夢みらい館 2/24(日) さばえフェスタ

今年度は、館の利用者サークル発表のほか、作品展示、その他、バザーがたくさん出店され参加者はいろいろな美味しい物を買って帰っていました。

午後からは、講演会「ほめ言葉のシャワー」～あなたからあなたへ～講師 水野 スウ 氏のお話でした。自分を見つめ直すきっかけや、言葉かけの大切さなどがわかり、参加者も真剣に聞き入っていました。



地域ネットワーク・リーダー研修会 2/9(土)

鯖江市健康福祉センター「自分発見!カラー」を使ってコミュニケーションカラーアップ」

とても楽しい講演で、言葉の表現や自分自身のパワーアップに色使いがとても大切だと分かりました。自分の色を早く見つけてみたいと思いました。

中村裕美子氏

○「編集後記」

広報委員長 牧田清昭

さばえ男女共同参画情報紙「ぱーとなー」5号をお届けします。

女と男みんなが理解し合い、お互いの人格を認め合って、輝いて生活していけるか、わずかながらでも広がっているのではないかと思います。

ここに、ネットワーク会員一同の年間活動のあとがき集約されています。

また、今年度も、提案型市民主役事業「しあわせ伝言コンクール」を行い、テーマを伝えたい想い、すでは普段は言えない感謝の気持ちや想いを込めた作品一〇〇以上集まりました。関心の高まりと今後の期待を感じます。

今回の情報紙を市民の皆様には一人でも多く読んでいただいて活動を理解し、今後のネットワーク事業にも是非、参画を願っています。

